

2023.08.10 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会を開催しました

山陰両県のコンクリート診断士会は、平成 27 年の設立 10 周年記念大会を契機として両県交流会を年 1 回程度開催することとし、これまでに両県持ち回りで計 6 回の交流会を開催してきたところです。今年は米子市において、下記のとおり開催されました。

第 7 回 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会プログラム

1. 名称: 第 7 回 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会
2. 日時: 令和 5 年 8 月 10 日(木) 13:30~17:00(受付 13:00~13:25)
3. 場所: 米子コンベンションセンター 第 7 会議室

米子市末広町 294(JR 米子駅前)

TEL 0859-35-8111 FAX 0859-39-0700

4. 主催: 鳥取県コンクリート診断士会
共催: 島根県コンクリート診断士会



5. 開会挨拶: 13:30~13:40(10分)

鳥取県コンクリート診断士会会長 田中 孝志

6. 基調講演: 13:40~15:20(講演 90分、質疑応答 10分)

演題「未来を担うコンクリート診断士のための AI 活用の研究事例紹介と演習」

鳥取大学工学部社会システム土木系学科 准教授 江本 久雄 氏

※ 60分程度の講演後、パソコンを用いて、ネット環境下 Google Colaboratory(略: Colab)で演習を行います。Colabo は、最新バージョンの Chrome、Firefox、Safari では完全に動作します。そのため、WiFi 接続可能なパソコンをお持ちの方は会場へご持参願います。また、Google アカウントも必要となりますので、あらかじめご準備ください。なお、必ずしもパソコンを必要とする講演ではありませんので、可能な方のみご持参ください。また、会場のネット環境が限界を超える場合に備えて、可能な方はポケット WiFi かテザリングをご準備願います。

休憩・会場内換気: 15:20~15:30(10分)

7. 各県会員による業務体験発表

- (1) 15:30~16:10(発表 35分、質疑応答 5分)

演題「伊良部大橋支承補修工事 施工事例について」

鳥取県コンクリート診断士会 谷口 勇也 氏

- (2) 16:10~16:50(発表 35分、質疑応答 5分)

演題「工事への愛情が創意工夫を生む」

島根県コンクリート診断士会 足立 孝之 氏

8. 閉会挨拶: 16:50~17:00(10分)

島根県コンクリート診断士会会長 松浦 寛司

懇親会: 17:30~19:30 旬門(しゅんもん: 米子市明治町)にて

研修会の開催状況

◆出席者数

- ・鳥取県コンクリート診断士会 21名
- ・島根県コンクリート診断士会 28名
- ・講師 3名
- ・鳥大大学院生 2名(江本講師基調講演の演習補助)
- ・合計 54名

◆開催状況



鳥取県 田中会長 開会あいさつ



江本講師



研修風景



鳥取県 谷口講師



島根県 足立講師



島根県 松浦会長 閉会あいさつ

山陰両県合同研修開く コンクリ診断士会

山陰両県のコンクリート診断士会（鳥取県・田中孝志会長、島根県・松浦寛司会長）はこのほど、米子市末広町の米子コンベンションセンターで合同研修会を開いた。研修会には鳥取、島根両県の建設コンサルタントや建設会社、コンクリート製品商社から約60人が



あいさつをする田中孝志会長

参加した。開会に先立ち、田中会長は「他県の研修会では企業の技術紹介などが多いが、山陰では自分たちが施工した業務紹介や地元の有名な先生などを講師に招いて講義を受けるなど、実践的な研修会になっている。今後も山陰両県でお互いに高めあっていけたら」とあいさつ。続いて株式会社サンクリエイト（鳥取市古海、中野内道徳社長）の

谷口勇也氏が「伊良部大橋支承補修工事施工例について」と題し業務体験を発表した。同橋梁は沖繩県の宮古島と伊良部島を結ぶ全長3540mで、離島間を結ぶ橋梁としては日本最長。PC構造はクリーブ乾燥収縮が進行する特性があることから、同社はゴム支承のポストスライドを実施。また亜熱帯海洋性気象に属する沖繩県の環境上、飛来塩分や台風の影響などにより鋼やコンクリート構造物には厳しい状況下にあるが、耐塩害性・耐久性に優れた塗装のクリスタルジュエリー工法を実施し、透明塗膜により目視での橋梁点検における作業効率の効率化を図った。

基調講演では鳥取大学工学部の江本久雄准教授が「未来を担うコンクリート診断士のためのAI活用の研究事例紹介と演習」を披露した。